

## 1. 学校評価の観点

今年度の学校教育目標達成に向けた学校経営方針と重点目標をもとに、評価の観点を次の5つとした。

- (1) 専門職として、教師力・学校力の向上に努める教職員
- (2) 現職教育を核にした実践研究への取組
- (3) 特色ある学校づくりへの取組
- (4) 危機管理を意識した安全教育への取組
- (5) 家庭や地域との連携の強化

## 2. 評価の方法

・アンケートの対象者

- |                                       |           |
|---------------------------------------|-----------|
| I 全校児童                                | 計 3 8 4 名 |
| II 本校保護者                              | 計 2 9 9 名 |
| III 地域の方々（擁護会役員・学校評議員・交通指導員・民生児童委員代表） | 1 8 名     |

・アンケート方法 Q Rコードを読み取りメールにて回答

・アンケート実施時期 令和6年12月～令和7年1月

## 3. アンケートの集計結果

### (1) 「授業や学校生活についてのアンケート（児童対象）」について

A「十分達成している」、B「おおむね達成している」と回答した人数を合わせた割合（以下、達成率と表記する）が90%を超えた設問は18問中8問であった。中でも、次の5問は達成率が93%を超えた。

- 設問① 授業はわかりやすいと思いますか。 95%**  
**設問⑫ 当番活動や係活動、委員会活動にしっかりと取り組んでいると思いますか。 96%**  
**設問⑭ 避難訓練に真剣に取り組むことができたと思いますか。 95%**  
**設問⑮ 児童みんなが居心地のよい学校であると思いますか。 94%**  
**設問⑲ 学校生活は、楽しいと思いますか。 93%**

一方で、達成率が60%に満たなかったのは、次の設問である。

- 設問⑥ 進んで読書をしていると思いますか。 55%**

他の設問に比べて「思わない」と回答した割合が多く、読書嫌いの児童が一定数いることが分かる。読書の習慣づけに対しては、『須西っ子タイム』で「読み聞かせ」や読書活動を行っているが、少しでも本に興味を持ってもらえるように委員会活動も充実させ啓発していきたい。

### (2) 「保護者による学校評価アンケート」について

18問中13問が達成率80%以上であった。中でも達成率が90%を超えたのは、次の7問である。

- 設問① お子さんは、授業がわかりやすいと言っていますか。 90%**  
**設問③ 学校は、読み書き計算など基礎学力を身に付けるためにきめ細かく指導していますか。 91%**  
**設問⑤ お子さんは、学校を居心地のよい場所だと感じていると思いますか。 92%**  
**設問⑨ お子さんは、交通ルールを守り、安全に登下校していると思いますか。 90%**  
**設問⑯ 学校は、学校の様子を便り等を用いて伝えていると思いますか。 90%**  
**設問⑰ 学校は、来校者や電話への対応はよいと思いますか。 91%**  
**設問⑳ お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしていますか。 91%**

達成率が75%に満たなかったのは次の2問である。

- 設問⑦ 学校は、いじめ防止といじめへの対応を適切に行っていると思いますか。 70%**  
**設問⑧ お子さんは、先生や友だち、家の人や近所の人にあいさつをしていると思いますか。 68%**

設問⑦では「わからない」と回答した保護者が27%であった。いじめについては「いじめ防止基本方針」に準じて対応にあたっている。ホームページにも掲載しているが、しっかりと保護者への周知を図りたい。

設問⑧では、「旗当番の際に挨拶しても返してくれない子がいる」という意見が見られた。また、「人見知りや照れで挨拶が苦手」という意見もあった。挨拶の意義を考えさせたり、教員が率先して挨拶したりするなどして、校内で挨拶の習慣が身に付けられるよう指導していきたい。

### (3) 地域の方々からの回答について

#### ア 評価項目と設問内容

設問を10項目に絞り、子どもたちの様子や学校の取組についての評価を行った。

#### イ 集計結果 回答数 16名

昨年度に比べて「わからない」という回答が減少した。

子どもたちの様子に関わる設問については、「十分達成している」「おおむね達成している」という回答が多く、高い評価を得た。

### (4) 教職員による自己評価について

#### ア 評価項目と設問内容

各学級ごとの「児童アンケート」「保護者アンケート」の結果を踏まえ、教職員それぞれが学校教育活動についての評価を行った。

#### イ 集計結果 回答数 18名

ほぼすべての項目について、達成率は高かった。しかし、学習指導・生徒指導・保護者地域との連携の各項目の項目の中には、不十分であったという回答も見られた。保護者、児童ともに「交通ルールを守って登校できているか」という設問について達成率は高かったが、地域の方々からの声には、「交通ルールを時間があるときに話してほしい」というご意見があり、捉え方に差がある。教職員による自己評価でも「登下校時の交通安全指導について心がけている」という項目で他に比べ達成率が低くなっているため、大きな事故につながらないように、交通ルールの遵守、マナー向上の意識を高めていきたい。

## 4. 成果と課題

### 観点①「専門職として、教師力・学校力の向上に努める教職員」について

若手、ベテランともに、教職員が一丸となって学校教育目標の達成に向けて努力することができたと考える。学校運営に関しては、特別な支援を要する児童に対して、教職員間で情報共有を密にし、スクールサポーターやスクールカウンセラーを活用し支援することができた。また、学習指導に関しては、楽しい、わかる授業づくりを目指して取り組んでいる。一人一授業の研究授業を実施し、全体で研究協議会を行い、授業力向上に努めている。研究協議会は児童の下校に行っていたが、勤務時間内に時間を確保することが課題である。今後は、ひと月に実施する研究授業の時間を年間当初に決め、あらかじめ研修の時間として確保していくようにしたい。

### 観点②現職教育を核にした実践研究への取組について

一昨年度より、「集団の一員としてよりよい生活を築こう」をテーマに温かい人間関係づくりに取り組んだ。異学年交流「くすのき活動」を取り入れ、他学年の友達によさに気づいたり、思いやりの気持ちをもって接したりすることで、温かい人間関係を築けるよう取り組んだ。今年度は、高学年の児童が中心となって活動を企画したり、各委員会ごとに異学年との交流を深められる活動を考えたりした。それによって、積極的に他者に関わろうとする児童の意識を高めることができた。今後も継続して行っていきたい。

### **観点③特色ある学校づくりへの取組について**

蟹江町観光交流センター「祭人」の見学や須成祭体験など、特色ある学校づくりの中心として本校で行ってきた活動を、児童に体験させることができた。須成祭体験では、地元の敬神会の方々を講師にお招きし、祭りで使用する飾り花を作る体験を行った。クラブ活動では、伝統芸能として、須成鼓笛保存会の方をお招きし、太鼓の練習を行っている。このような活動を通して、地域の行事に対しても、参加意識を高めていきたい。須西小学校の特色ある学校づくりに今後も取り組んでいきたい。

### **観点④危機管理を意識した安全教育への取組について**

学校生活での大きなケガや校内外での事故は今年度も少なかった。危機管理の意識をしっかりと持って今後も指導にあたりたい。登下校については、児童全員に実践力を身に付けさせることはまだできていないが、問題に対しては素早い対応を行っている。災害を想定した避難訓練では、授業時の避難訓練だけでなく、掃除中など担任が不在の場合の避難訓練も行っている。どの児童も訓練に真剣に取り組むことができている。児童が、より主体的に学ぶことができる安全教育に今後も取り組んでいきたい。

### **観点⑤家庭や地域との連携の強化について**

全ての教職員が、放課後の限られた時間を使い、家庭訪問や電話連絡などにより、保護者との意思疎通を心がけている。また、学校だより・学年通信・ホームページでの情報発信にも積極的に取り組んだ。昨年度同様、企業や地域人材を活用した出前授業を実施することができた。保護者や地域との連携についての教職員の意識をさらに高めていきたい。